

# 県一般ハンド選手権

## 1部男女

ハンドボールの第51回県一般選手権最終日は15日、浦添市民体育館で各部の決勝までを行い、1部女子は那覇西クラブが19、13でレキオクラブに勝ち、同男子はBICが35、22で那覇西クラブを破って共に2連覇を果たした。両チームは九州一般選手権（5月11、13日・佐賀）の出場権を得た。

### 【男子】

#### ▽1部決勝

BIC 35 1619 15 22 那覇西クラブ

#### ▽2部準決勝

名桜大 45 16 あい保険工業

エレンツ 32 28 具志川HC

#### ▽同決勝

名桜大 31 1813 1011 21 エレンツ

【女子】

#### ▽1部決勝

那覇西クラブ 19 7 7 13 レキオクラブ

#### ▽2部決勝

M 25 1312 1011 21 名桜大

#### ▽3位決定戦

コザクラブ 17 11 チーム46

#### ▽決勝

天外天 12 8 8 11 糸満OB

# 那覇西ク 後半猛攻V2

## ハイライト

昨年と同じ顔触れとなった女子1部決勝は、後半に入ってギアが上がった那覇西クラブがレキオクラブを突き放し、2年連続の勝利を収めた。

美主将が「絶対負けられないと、硬くなった」と振り返った前半は最大2点差を迫る展開。終盤に追い付き7-7で折り返すと、後半は中盤を過ぎてから一気に波に乗った。

佐久川真美を中心に、ルキー上地涼奈の力強いロングや松川ひかるのGRの力強いロングシュートなどで得点を振り出し「左45度というミスに乗った。」

オムロンで1年ブレイクをした。大城は「もう一度九州で勝って、ジャパンプンに臨みます」と力強く宣言した。（儀間多美子）

## 新人上地ロング炸裂



女子決勝 那覇西クラブ-レキオクラブ 後半、高い打点からシュートを放つ那覇西クラブの上地涼奈=浦添市民体育館（落合綾子撮影）

## BIC貫禄のV2

男子1部決勝は得点力、守備力、機動力と全てに那覇西クラブを上回ったBICが35、22で2連覇。通事亭介主将は「しっかりと守れたのが良かった。守備から攻撃のリズムを作ることができた」と納得の表情を浮かべた。

相手を見ながら足を使って動く、機動力のある一線ディフェンスが機能した。一方で速いパス回しや緩急あるシュートを武器に、高い位置からチェックをかける相手守備陣を交わして次々とネットを揺らした。

又吉裕貴、宮城護とルーキー12人も勝利に貢献。ボールを回して試合を組

## 試合巧者 攻守で圧倒

男子決勝 BIC-那覇西クラブ 後半、BICの又吉裕喜がディフェンスをかわしシュートを放つ

み立てた又吉は「しっかりと速攻につなげられた。宮城も『いい雰囲気の中でプレーできた』と笑顔を見せる。

昨年は2回戦で敗れた九州選手権に向けて、又吉は「勝ちます」と力強く宣言。通事主将は「今年優勝して、九州1位で2年ぶりのオールジャパン出場を果たしたい」と意気込んだ。

